

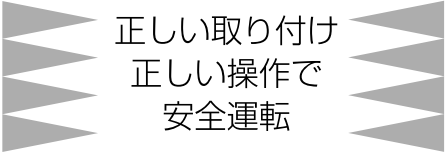
取付説明書

ヘッドレスト取付アーム



安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお薦めします。
- ご使用前に、この取付説明書とリアビジョン側の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

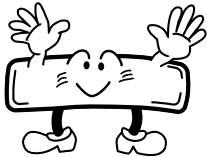
分解・改造をしないでください。 事故・火災・感電の原因になります。		急停車等での事故防止のため、後部座席に座る際は必ずシートベルトを着用してください。	
助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。 エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。		コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。 ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。	
ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。 飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。		前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。	
走行中、運転者は安全のため絶対にリアビジョンを見たり、操作をしたりしないでください。		取り付けには、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。	

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。		水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。	
付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。 事故・故障の原因になります。		コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。	
説明書に従って、正しく接続してください。 火災・事故の原因になります。		窓を閉め切った車内・直射日光の当たる場所に長時間リアビジョンを放置すると、リアビジョンの故障や変形の原因となります。そのような場合はリアビジョンをはずして保管してください。	
リアビジョンの脱落を防ぐため、基台本体がしっかり固定されていることを確認してご使用ください。		過度の衝撃が加わった場合、ヘッドレストに損傷を与える場合があります。	
悪路・段差の激しい路上を走行する時には、リアビジョンを基台からはずしてください。そのままで使用になると、リアビジョンの脱落やヘッドレストの破損の原因となります。			

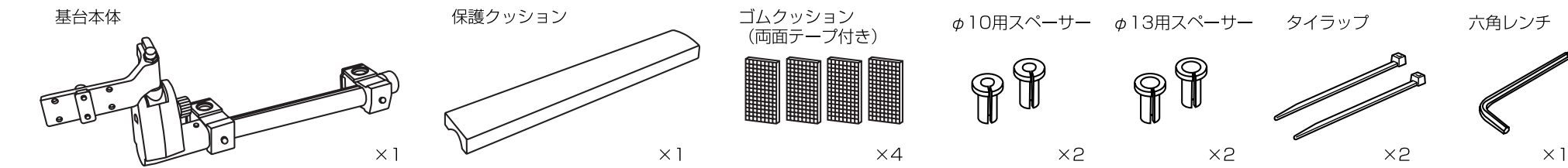
はじめに

- 次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。
- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕をもって作業してください。
 - 取り付けは、車種・グレード・年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げ店より入手してください。
 - 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
 - 不明な点はお買い上げ店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。



1. 準備する

1 付属部品を確認する。工具／取り付け情報をそろえる。



2 車を安全で平坦な場所に停める。パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー（エンジンキー）を抜く。

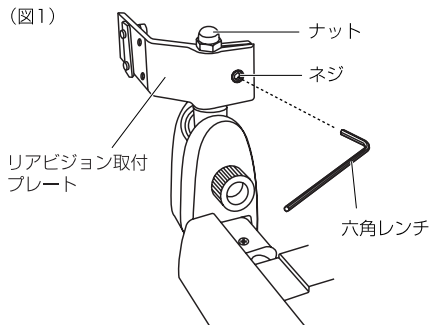
2. 基台本体の組み替え方法

●取り付けるシートを選びます。工場出荷時は「右ハンドル車運転席」への取り付け状態です。「右ハンドル車運転席」への取り付けの場合は、3. 車への取付方法へ進んでください。「右ハンドル車助手席」への取り付けの場合は、基台本体を組み替えます。

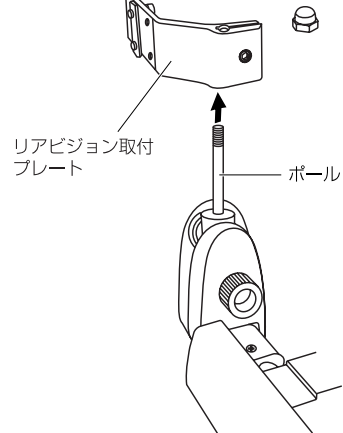
【右ハンドル助手席】

【右ハンドル運転席（工場出荷時の状態）】

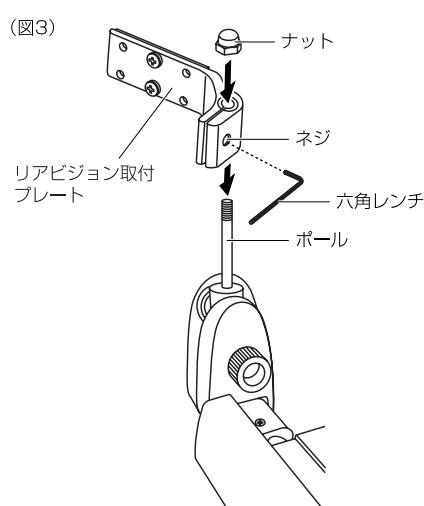
1 ナットをスパナ等で取りはずします。リアビジョン取付プレートのネジを付属の六角レンチでゆるめます。（図1）



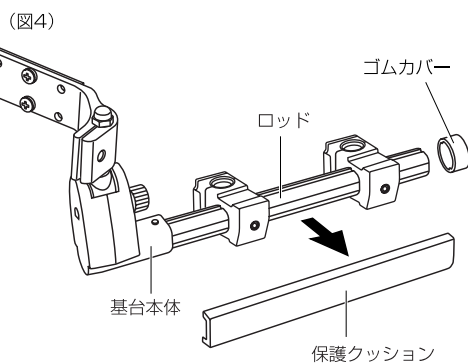
2 リアビジョン取付プレートをボールから取りはずします。（図2）



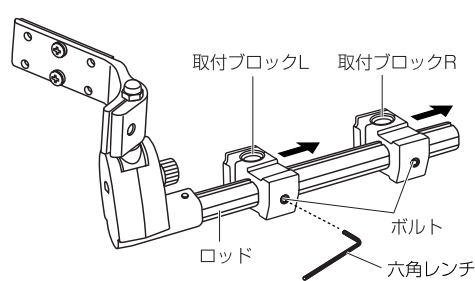
3 リアビジョン取付プレートを（図3）のように工場出荷時と反対向きにし、ボールに差し込みます。1ではしたナットをスパナ等で締め、元に戻します。1でゆるめたリアビジョン取付プレートのネジを付属の六角レンチで仮止めします。（図3）



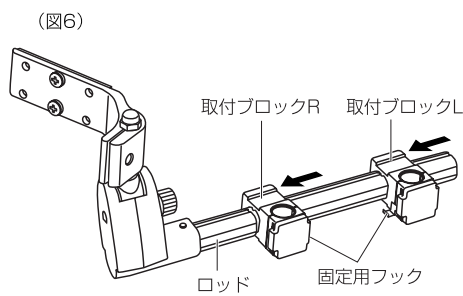
4 ロッドからゴムカバーを取りはずします。基台本体から保護クッションをはずします。（図4）



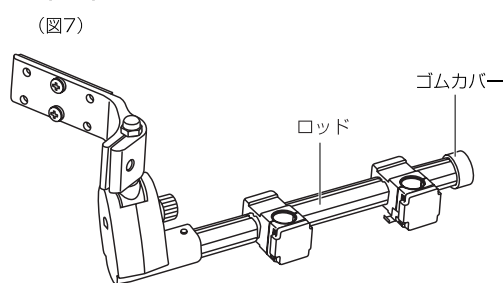
5 取付ブロック正面のボルトを付属の六角レンチでゆるめます（左右2箇所）。ロッドから取付ブロック（L・R）を取りはずします。（図5）



6 取付ブロックR・取付ブロックLの順でロッドに入れます。取付ブロックL/Rをそれぞれの固定用フックが内側になるように反転させ、5ではした取付ブロック正面のボルトを仮止めします（左右2箇所）。（図6）

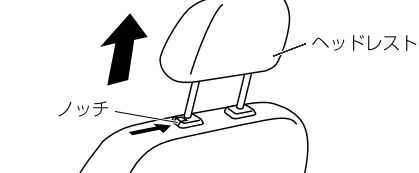


7 ゴムカバーをロッドにかぶせ、元に戻します。（図7）

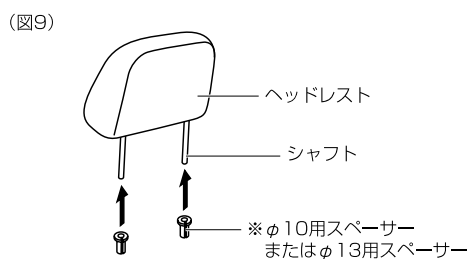


3. 車への取付方法（右ハンドル車運転席への取付例）

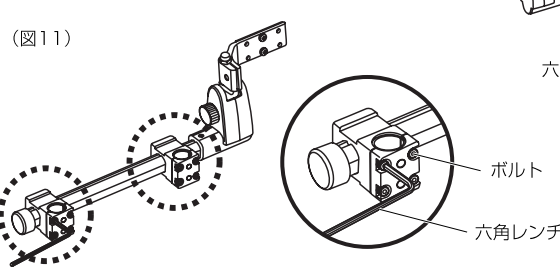
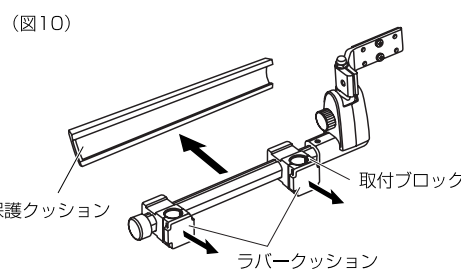
1 シートからヘッドレストを引き抜きます。（図8）
※シートのヘッドレスト差し込み口に高さ調整用のノッチがあります。ノッチを押しながらヘッドレストを引き抜いてください。



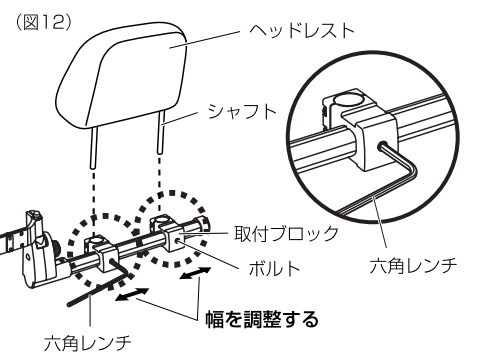
2 ヘッドレストのシャフトにスペーサー（φ10・φ13）をそれぞれ通してみ、ヘッドレストのシャフトの直径に合うスペーサーを選択します。シャフトの直径がφ13以上の場合は付属のゴムクッションを使用します。（図9）



3 基台本体の保護クッションを取りはずします。取付ブロックのラバークッションを取りはずし（左右2箇所）（図10）、付属の六角レンチでボルトをゆるめます（4箇所×左右）。（図11）



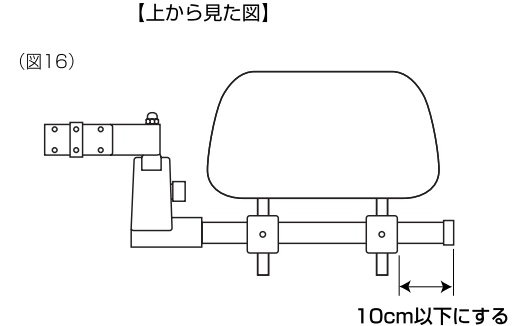
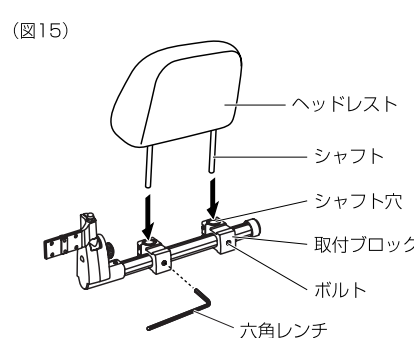
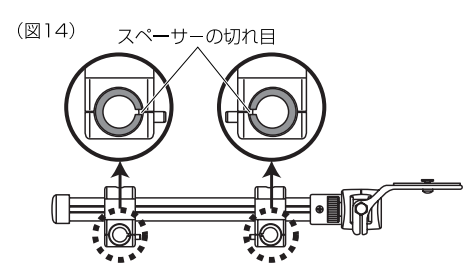
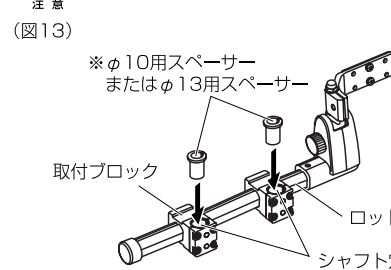
4 取付ブロック正面のボルトを付属の六角レンチでゆるめ（左右2箇所）、取付ブロックを左右に動かし、ヘッドレストのシャフト幅に合わせて調整します。（図12）



5 スペーサーを使用する場合

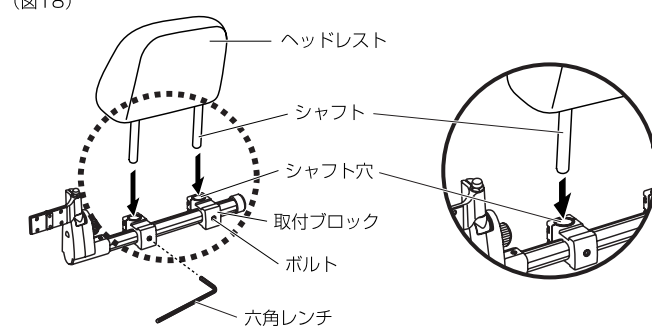
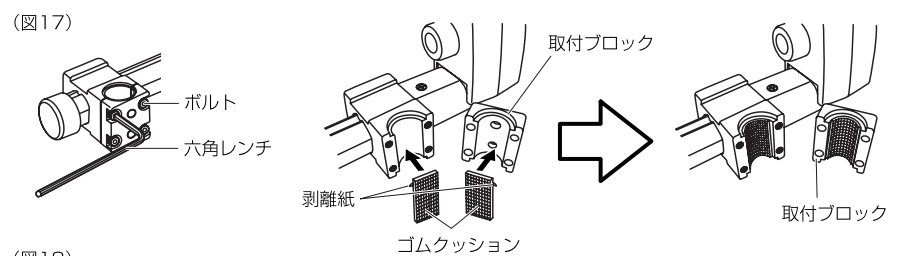
2で選んだスペーサー（φ10またはφ13）を取付ブロックのシャフト穴に入れます（左右2箇所）（図13）。その際、スペーサーにある切れ目が内側になるように入れてください（図14）。ヘッドレストのシャフトを取付ブロックのシャフト穴に通し、付属の六角レンチでボルトを仮止めします（図15）。その際、右側に出る部分が10cm以下になるように調整してください。（図16）

注意 ・ボルトのゆるめ方が少ないとロッドに傷が付きますので注意してください。

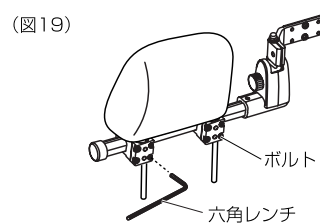


スペーサーを使用しない（ゴムクッションを使用する／シャフトの直径がφ13以上の場合）場合

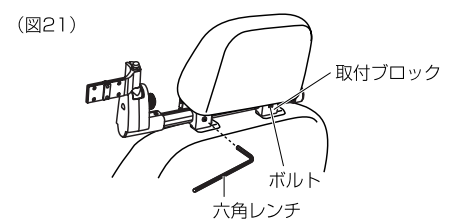
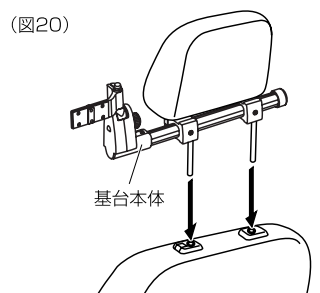
取付ブロックのシャフト穴側のボルトを付属の六角レンチではずします（4箇所×左右）。付属のゴムクッションの裏の剥離紙をはがし、取付ブロックの内側に貼り付けます（図17）。取付ブロックを元に戻し、ボルトをゆるめに締めます（左右2箇所）。ヘッドレストのシャフトを取付ブロックのシャフト穴に通し、付属の六角レンチでボルトを仮止めします（左右2箇所）（図18）。その際、右側に出る部分が10cm以下になるように調整してください。（図16）



6 取付ブロックのシャフト穴側のボルトを付属の六角レンチで締め、固定します（4箇所×左右）。（図19）

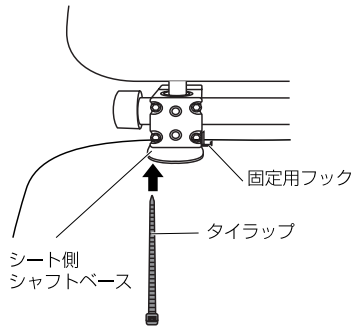


7 基台本体を取り付けたヘッドレストをシートに戻します（図20）。基台本体の位置を決め、5で仮止めた取付ブロック正面のボルトを付属の六角レンチで締め（左右2箇所）、基台本体を固定します。（図21）

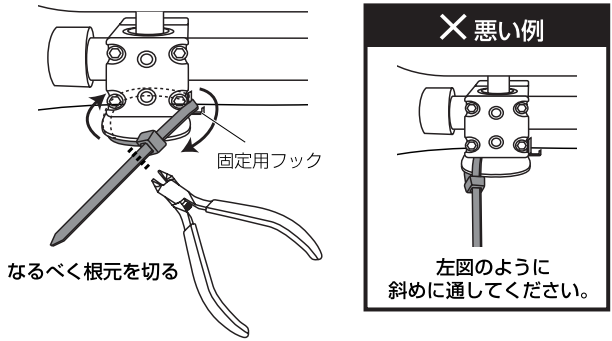


8 グラツキを防止するため次のことを行なってください。付属のタイラップをシート側のシャフトベースとシートのすき間にくぐらせます(図22)。(図23)のようにタイラップを斜めに通し、取付ブロックの側面に付いている固定用フックに引っ掛け、タイラップをしっかり締め、固定します。余ったタイラップをニッパー等で切断します(図23)。(左右2箇所)

(図22)

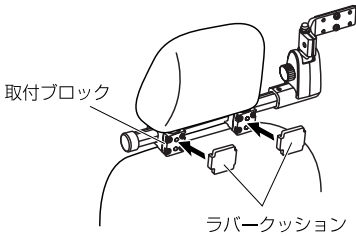


(図23)



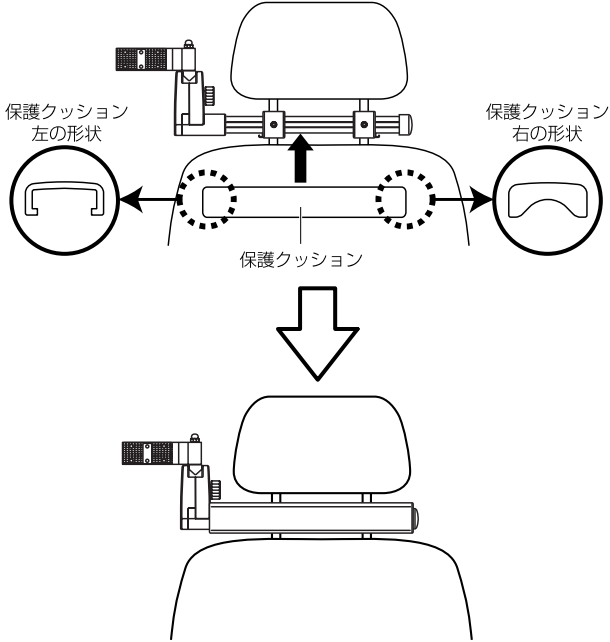
9 取付ブロックのシャフト穴側に3ではずしたラパークッションを取り付けます(左右2箇所)。(図24)

(図24)



10 3ではずした保護クッションでシャフトの露出している部分をカバーします。保護クッションは左右形状が違います。(図25)を参照して取り付けてください。保護クッションは安全のために必ず使用してください。

(図25)

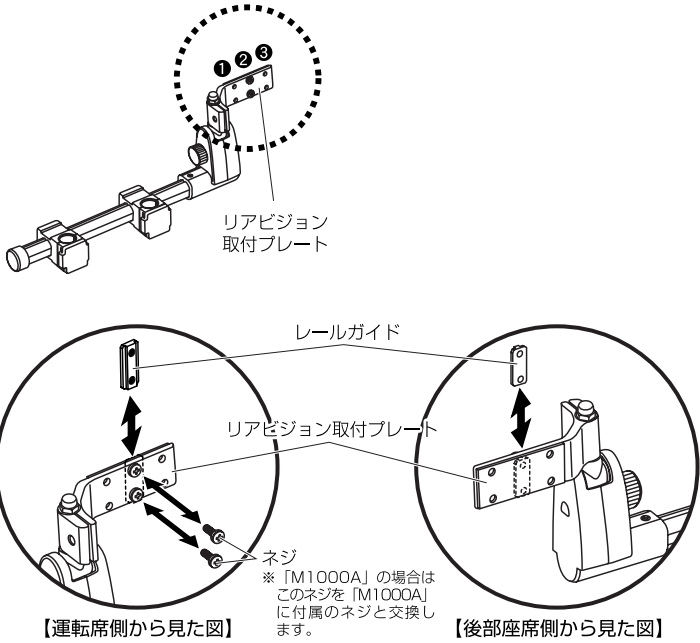


4. リアビジョンの取付方法 (右ハンドル車運転席)への取付例

「M1000A(10.2インチモニター)」を取り付ける場合 (取り付けに使用するネジは「M1000A」に付属されています。)

1 基台本体のリアビジョン取付プレートのネジをプラスドライバー等ではずし(2箇所)、レールガイドを取りはずします。リアビジョン取付プレートの②の位置に先程はずしたレールガイドを「M1000A」に付属のネジで仮止めします。(図26)
※「M1000A」の場合は②の位置にのみ取り付けが可能です。

(図26)

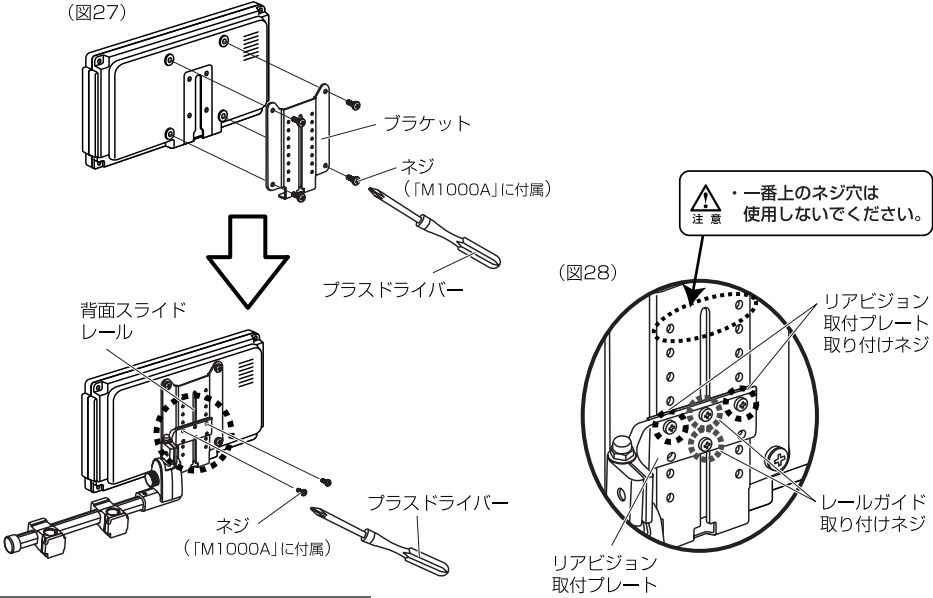


2 「M1000A」に付属されているブラケットを「M1000A」背面に付属のネジでプラスドライバー等を使って取り付けます(4箇所)。ブラケットの背面スライドレールを1で取り付けたいレールガイドに挿入し、「M1000A」の取り付け位置を決めます(図27)。その際、一番上のネジ穴は使用しないでください(図28)。リアビジョン取付プレートの上段左右2箇所を付属のネジでプラスドライバー等を使ってしっかり締めて固定します。レールガイドのネジもしっかり締めて固定します。(図27)



・「M1000A」本体を落とさないように注意してください。
・ネジはしっかり締めてください。締め付けが足りないと「M1000A」本体が脱落する原因となります。

(図27)



その他のリアビジョンを取り付ける場合

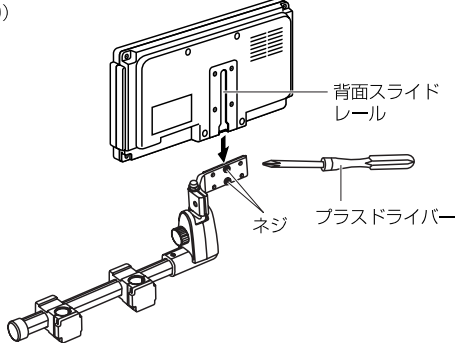
1 リアビジョンの取り付け位置をリアビジョン取付プレートの3箇所から選ぶことができます。基台本体のリアビジョン取付プレートのネジをプラスドライバー等ではずし(2箇所)、レールガイドを取りはずします。リアビジョンを取り付けたい位置に先程はずしたレールガイドをネジで仮止めします。(図26)

2 リアビジョンの背面スライドレールを1で取り付けたいレールガイドに挿入します。リアビジョンの取り付け位置が決まったら、ネジをプラスドライバー等でしっかり締めて固定します。(図29)



・リアビジョン本体を落とさないように注意してください。
・ネジはしっかり締めてください。締め付けが足りないとリアビジョン本体が脱落する原因となります。

(図29)



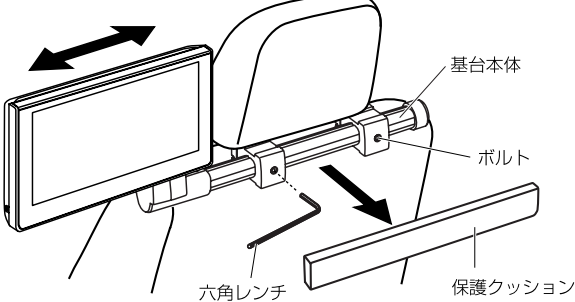
5. リアビジョンのスライド方法

●保護クッションをはずし、取付ブロック正面のボルトを付属の六角レンチでゆるめ、基台本体をスライドさせて調整します。位置が決まったらボルトを締め、固定し、保護クッションを戻します。(図30)



・シートのリクライニングをする際は、リアビジョンが他のシートにぶつからないように十分注意してください。

(図30)



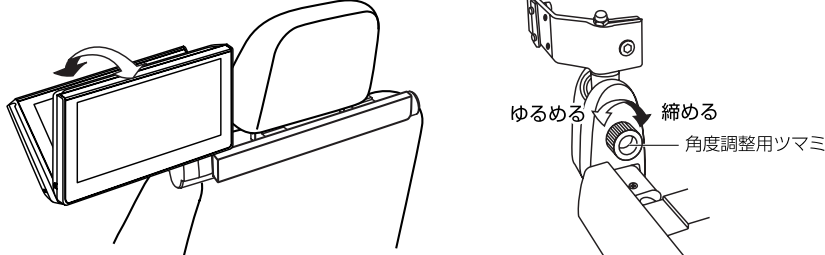
6. リアビジョンの角度調整方法

●取付基台の角度調整用ツマミをゆるめ、リアビジョンの画面が見やすい位置を決めます。角度調整用ツマミを締めて、リアビジョンを固定します。(図31)



・角度調整用ツマミはしっかり締めてください。締め付けが足りないとリアビジョン本体が脱落する原因となります。

(図31)



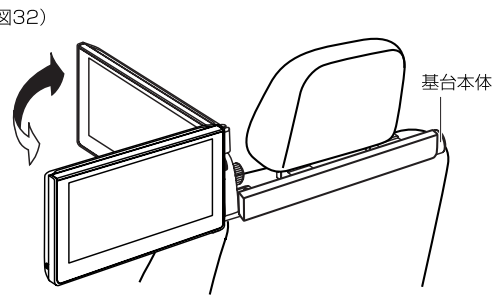
●取付基台のリアビジョン取付プレートを動かし、リアビジョンの画面が見やすい位置を決めます。(図32)

※工場出荷時は固めに設定してあります。(図33)のネジ部を付属の六角レンチでお好みに応じて調整してください。

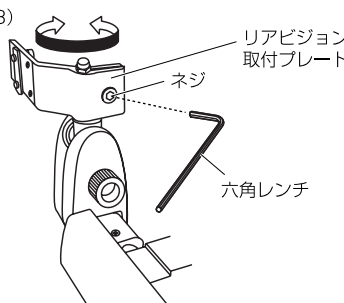


・リアビジョン取付プレートを動かす際は、基台本体をしっかり持って動かしてください。
・リアビジョン取付プレートはフリーストップ機構ですので、完全固定はできません。

(図32)



(図33)





注意

- リアビジョンの脱落を防ぐため、基台本体がしっかり固定されていることを確認してご使用ください。
- 悪路・段差の激しい路上を走行する時には、リアビジョンを基台からはずしてください。そのままご使用になると、リアビジョンの脱落やヘッドレストの破損の原因となります。
- 窓を閉め切った車内・直射日光の当たる場所に長時間リアビジョンを放置すると、リアビジョンの故障や変形の原因となります。そのような場合には、リアビジョンをはずして保管してください。



警告

- 過度の衝撃が加わった場合、ヘッドレストに損傷を与える場合があります。
- 走行中、運転者は安全のため絶対にリアビジョンを見たり、操作をしたりしないでください。
- 急停車等での事故防止のため、後部座席に座る際は必ずシートベルトを着用してください。
- 安全のため、取付位置は運転操作や視界の妨げにならない場所に設定してください。

お問い合わせ窓口

(平成21年1月26日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30 ～ 12:00 13:00 ～ 17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパインホームページ <http://www.alpine.co.jp>

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/ 栃木県/茨城県/群馬県/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/ 新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/富山県/石川県/ 滋賀県/京都府/大阪府/和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/ 島根県/鳥取県/広島県/山口県/香川県/愛媛県/徳島県/ 高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/ 宮崎県/沖縄県

アルパイン マーケティング株式会社

Designed by ALPINE Japan

Made in China

68M09041J11-A